

報道関係各位

2017年6月8日

東京エレクトロン デバイス株式会社と霧化分離装置の共同開発を開始

ナノミストテクノロジー株式会社(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:松浦 一雄、以下ナノミスト)は、東京エレクトロン デバイス株式会社(本社:横浜市神奈川区、代表取締役社長:徳重 敦之、以下 TED 社)と霧化分離装置の性能向上に向けた共同開発を開始します。

■背景

化学業界での工場廃液の処理や食品業界での飲料の成分凝縮などにおいて混合液を成分ごとに分離・回収する場合、これまでは、沸点の違いを利用する蒸発・蒸留法や、圧力差や濃度差を利用する膜分離法などの手法がとられていました。しかし、これらの方法には沸騰させるために多大なエネルギーが必要、揮発性の高い液体に加圧・加熱することによる危険性、加熱による変性、装置設置のための広いスペースが必要、などの課題がありました。

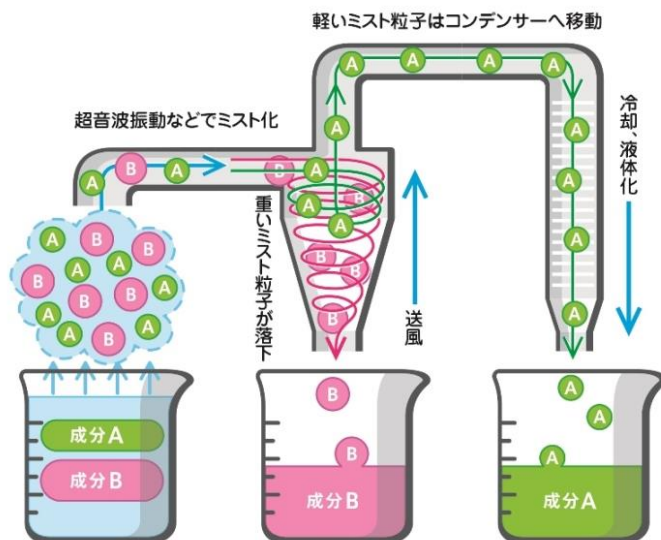
■霧化分離装置

ナノミストが開発した霧化分離装置は、世界でも類を見ない徳島県が発信する独自技術です。この装置は、超音波振動などによって混合液を数ナノメートル (nm) ~数十マイクロメートル (μ m) の粒子に霧化 (ミスト化) し、各成分の分子量の違いなどを利用して分離・回収する独自技術を用いています。

加熱して分子間結合を完全に切り離さないため、蒸発・蒸留法に比べて省エネルギーで分離が可能です。また、加圧・加熱が少ないので、揮発性の高い対象物も安全に変性させずに分離することができること、アイドリング時間の大幅な短縮により装置の動作を1秒以下で開始・停止することも特長です。

小型のモジュール構造であるため、省スペースでの設置や、モジュールを複数使用することによるスケールアップが可能です。また、既存技術との組み合わせも容易です。

< 基本原理 >



昨年より TED 社と霧化分離装置の販売をおこなっていますが、今後は、事業における量産・受託開発の知見を持つ TED 社の協力のもと、霧化分離装置の性能向上や量産対応、品質管理、生産コストの低減などに共同で取り組み、共同開発による製品化に向けた体制を強化すると同時に、化学業界や食品業界への製品導入を進めていきます。

なお、共同開発の成果を一層増大させるため、ナノミストは、TED 社より 2017 年 4 月に出資（出資比率：1.7%）を受けました。

【東京エレクトロン デバイス株式会社について】

東京エレクトロン デバイス株式会社は、半導体製品やビジネスソリューション等を提供する「商社ビジネス」と、お客様の設計受託や自社ブランド商品の開発を行う「開発ビジネス」を有する技術商社です。

URL：<http://www.teldevice.co.jp/>

【inrevium(インレビウム) について】

東京エレクトロン デバイス株式会社は、1985 年に開設した設計開発センターの豊富な設計開発経験を活かして、お客様の要求に基づくデザインサービス(設計受託業務)と、市場のニーズを先取りした自社開発商品を、“inrevium(インレビウム)”ブランドで提供する開発ビジネスに注力しています。今後も高付加価値の開発ビジネスに取り組んでいく予定です。

inrevium 専用サイト URL：<http://www.inrevium.com/>

【ナノミストテクノロジーズ株式会社について】

ナノミストテクノロジーズは、超音波霧化分離技術を中核技術として、温泉水濃縮装置、医療用溶剤回収装置、廃水処理装置に関わる研究開発、設計、販売を手がけています。

URL：<http://www.nanomisttechnologies.com/>

<本件に関する報道関係からのお問合せ先>

ナノミストテクノロジーズ株式会社 管理部 矢野

Tel：088-684-3399、Fax：088-684-3398

お問い合わせフォーム：<http://www.nanomisttechnologies.com/>

<本製品に関するお客様からのお問合せ先>

ナノミストテクノロジーズ株式会社 管理部 矢野

Tel：088-684-3399、Fax：088-684-3398

お問い合わせフォーム：<http://www.nanomisttechnologies.com/>

※ このニュース リリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。